

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場会社名 株式会社 コモンウェルス・エンターテインメント
 コード番号 7612 URL <http://www.cwe.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 武
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 塚田 英智
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 JQ

TEL 03-3568-5020

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	758	—	△71	—	△68	—	31	—
20年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第1四半期	0.81		—	
20年3月期第1四半期	—		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
21年3月期第1四半期	2,920		2,580		87.7	66.95		
20年3月期	5,554		2,549		45.5	66.13		

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 2,560百万円 20年3月期 2,529百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
21年3月期	0.00	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	0.00	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期連結累計期間	1,997	—	123	—	120	—	101	—	2.64	
通期	4,114	△54.4	721	68.9	714	67.6	697	45.3	18.23	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 38,363,220株 20年3月期 38,363,220株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 120,509株 20年3月期 120,108株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 38,242,848株 20年3月期第1四半期 一株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. 当社は、平成20年第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成20年3月期第1四半期の数値及び対前期増減率については記載していません。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における日本経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の不安感が増大しているなか、原油価格の高騰が一部消費者物価の上昇などに拍車を掛け個人消費に悪影響を及ぼすなど経済社会全体としては景気の減速感が強まる状況のまま推移しました。

このような経済情勢の中、当社グループは国内外の優良コンテンツを利用したアミューズメント遊技機への商品化事業、パチンコ・パチスロ遊技機のアミューズメント施設用メダルゲーム機への転用事業に積極的な販売活動を展開いたしました。

当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高につきましては758百万円となり、損益につきましては、当初よりアニメ制作におけるコンテンツ著作権勘定償却額等販売費及び一般管理費192百万円を見込んでいた為、営業損失71百万円、経常損失68百万円となりましたが、売掛金の回収が進んだことによる前連結会計年度末に計上した貸倒引当金の戻入額101百万円などにより四半期純利益31百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① コンテンツ事業

当第1四半期のコンテンツ事業につきましては、パチンコ・パチスロ遊技機の広告宣伝等が好調に推移いたしました。利益率に高い商品化事業については成立案件はありませんでした。また連結子会社である(株)ユー・エンターテインメントにつきましては、第2四半期より売上を見込んでいるため、当第1四半期につきましては売上は計上しておりません。

この結果、売上高は362百万円、営業利益は0百万円となりました。

② アミューズメント事業

当第1四半期のアミューズメント事業につきましては、アミューズメント施設用メダルゲーム機への転用事業が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は365百万円、営業利益は43百万円となりました。

③ コンサルティング事業

当第1四半期のコンサルティング事業につきましては、「アミューズメントショッピングエリア事業」を積極的に推進してまいりましたが、パチンコ営業店等の遊技業界を取巻く現況は引き続き厳しい状況で推移しており、新規コンサルティング受託店舗数が伸び悩む結果となりました。

この結果、売上高30百万円、営業損失3百万円となりました。

上記の金額には総務部門等管理部門に係る配賦不能営業費用は含んでおりません。

なお、前第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、前年同期比は記載しておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期末における総資産は、2,920百万円（前連結会計年度末は5,554百万円）となり、2,634百万円減少いたしました。減少の主な要因は現金及び預金の減少（2,768百万円から1,561百万円へ1,207百万円減）や、受取手形及び売掛金の減少（2,030百万円から71百万円へ1,959百万円減）であります。

(負債)

当第1四半期末における負債は、339百万円（前連結会計年度末は3,004百万円）となり、2,665百万円減少いたしました。減少の主な要因は支払手形及び買掛金の減少（2,768百万円から75百万円へ2,709百万円減）であります。

(純資産)

当第1四半期末における純資産は2,580百万円（前連結会計年度末は2,549百万円）となり、31百万円増加いたしました。増加の主な要因は、四半期純利益を計上したことによる利益剰余金の増加（△2,273百万円から△2,242百万円へ31百万円増）であり、自己資本比率は87.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は1,561百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,207百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、981百万円となりました。

これは税金等調整前当期純利益（31百万円）の計上、貸倒引当金の減少（△101百万円）、仕入債務の減少（△2,709百万円）、売上債権の減少（1,959百万円）等の要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、225百万円となりました。

これは主に貸付による支出（232百万円）等の要因によるものです。
（財務活動によるキャッシュ・フロー）
財務活動の結果使用した資金は、0百万円となりました。
これは自己株式の取得による支出（0百万円）によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期における業績は、当第1四半期に予定していたコンテンツ販売事業を前期末に計上することとしたため減少いたしましたものの、第2四半期以降は高収益なコンテンツ商品化事業を予定しており、概ね当社グループの計画どおり推移する見込みです。従いまして、平成20年5月15日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来個別法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。なお、この変更による営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,561,095	2,768,633
受取手形及び売掛金	71,097	2,030,496
商品	120,000	120,000
短期貸付金	384,232	185,432
仮払金	350,279	350
その他	73,482	171,799
貸倒引当金	△76,297	△177,451
流動資産合計	2,483,889	5,099,258
固定資産		
有形固定資産	35,903	23,387
無形固定資産	43,379	68,582
投資その他の資産		
長期貸付金	1,357,224	1,357,224
敷金及び保証金	374,604	380,604
その他	238,003	238,045
貸倒引当金	△1,612,614	△1,612,614
投資その他の資産合計	357,218	363,260
固定資産合計	436,501	455,230
資産合計	2,920,390	5,554,489
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	75,495	2,784,673
未払法人税等	3,003	12,001
引当金	3,811	12,794
その他	194,756	132,369
流動負債合計	277,065	2,941,839
固定負債		
引当金	6,318	6,811
その他	56,044	56,173
固定負債合計	62,363	62,984
負債合計	339,429	3,004,824

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,910,916	2,910,916
資本剰余金	1,961,297	1,961,297
利益剰余金	△2,242,609	△2,273,944
自己株式	△69,185	△69,146
株主資本合計	2,560,419	2,529,122
新株予約権	20,542	20,542
純資産合計	2,580,961	2,549,665
負債純資産合計	2,920,390	5,554,489

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	758,487
売上原価	637,720
売上総利益	120,767
販売費及び一般管理費	192,017
営業損失(△)	△71,250
営業外収益	
受取利息	2,518
その他	434
営業外収益合計	2,953
営業外費用	
その他	8
営業外費用合計	8
経常損失(△)	△68,305
特別利益	
前期損益修正益	14,344
貸倒引当金戻入額	101,153
その他	3,006
特別利益合計	118,505
特別損失	
固定資産除却損	18,516
特別損失合計	18,516
税金等調整前四半期純利益	31,682
法人税、住民税及び事業税	347
四半期純利益	31,335

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	31,682
減価償却費	1,825
コンテンツ著作権勘定償却額	25,157
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△101,153
固定資産除却損	18,516
売上債権の増減額 (△は増加)	1,959,398
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△252,245
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,709,161
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	54,326
その他	△9,187
小計	△980,840
利息及び配当金の受取額	240
法人税等の支払額	△1,285
営業活動によるキャッシュ・フロー	△981,885
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△32,813
貸付けによる支出	△232,000
貸付金の回収による収入	33,200
敷金及び保証金の回収による収入	6,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△225,613
財務活動によるキャッシュ・フロー	
その他	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,207,537
現金及び現金同等物の期首残高	2,768,633
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,561,095

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	コンテンツ事業 (千円)	アミューズメント事業 (千円)	コンサルティング事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	362,432	365,670	30,384	758,487	—	758,487
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	362,432	365,670	30,384	758,487	—	758,487
営業利益（又は営業損失）	750	43,431	△3,000	41,181	△112,431	△71,250

(注) 1. 事業区分は、事業の種類・性質の類似性等により区分しております。

2. 各事業の主要なサービス

事業区分	主要なサービス
コンテンツ事業	肖像権・著作権等の著作権管理業務、権利活動に付帯する広告宣伝・媒体業務
アミューズメント事業	遊技機転用業務（パチンコ・パチスロ機をアミューズメント施設に転用する業務）
コンサルティング事業	ぱちんこ営業店への景品供給、仕入、陳列交換等に係る企画運営のコンサルティング業務

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結会計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結会計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

海外売上がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(注) 当社は、平成20年3月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）における（要約）四半期連結損益計算書、（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報については記載しておりません。